

(一財) 日本建築総合試験所
建築技術性能証明 評価シート

【技術の名称】 SSM-Column 工法 —スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法—	性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-13号（更2） 性能証明発効日：2023年8月18日 性能証明の有効期限：2026年8月末日 【取得者】 株式会社奈良重機工事、株式会社コクエイ、 千代田ソイルテック株式会社、 株式会社システムプランニング、 株式会社フジタ地質、株式会社オオニシ
---	--

【技術の概要】

本技術は、セメント系固化材のスラリーを吐出しながら地盤を掘削攪拌することで、柱状の地盤改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。本技術の攪拌装置における特徴は、共回り防止翼を十字形に配置していること、共回り防止翼の下部に特殊攪拌翼（水平2枚）、共回り防止翼の上部に特殊攪拌翼（水平2枚）と攪拌翼（斜め2枚）を配置していることである。また、本技術の施工方法における特徴は、2サイクル施工を標準としていることや改良体底部でスラリーの吐出および貫入を停止し、攪拌装置の位置を保持したまま所定時間（1分間以上）正回転による攪拌混合を行うことである。

【更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第17-13号（2017年8月3日）
更新：GBRC 性能証明 第17-13号（更1）（2020年8月18日）
GBRC 性能証明 第17-13号（更2）（2023年8月18日）

【技術開発の趣旨】

機械攪拌式深層混合処理工法では、改良土が攪拌翼に付着して一緒に回転する共回り現象を低減するために、共回り防止翼の形状や機構などに独自の工夫が施されている技術が多い。本技術では、共回り防止翼や攪拌翼の枚数や配置に工夫を施すこと、および、施工方法として改良体底部での所定時間（1分間以上）の攪拌混合や2サイクル施工を標準で行うことで、改良体の品質を向上させている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。申込者が提案する「SSM-Column 工法 施工指針」に従って築造される改良体は、土質に応じて600～2,000kN/m²の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土層および粘性土層（ローム層を含む）で25%を採用できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

○先端翼の形状



【本技術の問合せ先】

株式会社奈良重機工事 担当者：奈良 伸太郎
〒458-0023 名古屋市緑区鴻目 1-115
株式会社コクエイ 担当者：青木 拓也
〒702-8024 岡山市南区浦安南町 16-5
株式会社システムプランニング 担当者：佐々木 敏弘
〒981-3133 仙台市泉区泉中央 3-18-4 オフィス 21-4F
千代田ソイルテック株式会社 担当者：雨甲斐 隆太
〒340-0823 埼玉県八潮市古新田 325 番地
株式会社フジタ地質 担当者：和田 健太郎
〒703-8204 岡山市中区雄町 425-1
株式会社オオニシ 担当者：大西 正人
〒649-6324 和歌山県和歌山市禰宜 268 番地

E-mail：s-nara@narajuki.jp
TEL：052-877-8281 FAX：052-877-8271
E-mail：aoki@kokuei.com
TEL：086-264-5821 FAX：086-262-5399
E-mail：info@kk-sp.co.jp
TEL：022-374-9808 FAX：022-374-9235
E-mail：amagair@t-soiltech.co.jp
TEL：048-995-9876 FAX：048-995-9803
E-mail：wada@geo-fujita.jp
TEL：086-208-3950 FAX：086-208-3951
E-mail：oonishi-01@nifty.com
TEL：073-477-3368 FAX：073-477-3858